

◆緩和的画像下治療（緩和的 IVR）とは

がんに伴うつらい症状を和らげるための大きな柱の一つが「緩和的画像下治療（緩和的 IVR）」です。緩和的 IVR とは、X 線（レントゲン）や CT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、カテーテル（細い管）や針などを用いて行う治療法です。外科的な手術に比べて体への負担が非常に小さく、局所麻酔などの処置で実施できるため、体力に不安のある患者さんでも安全に受けていただくことができます。痛みや息苦しさ、出血などの症状を速やかに緩和し、患者さんにご家族がより穏やかな日常生活を送れるようサポートいたします。

◆代表的な緩和的 IVR のご紹介

1. 胸水・腹水に対する経皮的ドレナージ術

がんに伴って胸部や腹部に水が溜まると、強い息苦しさや腹部膨満感が現れます。画像を見ながら安全な経路で細い管を留置し、溜まった水を体外へ排出（ドレナージ）することで、これらの苦痛を和らげます。

2. 制御不能な出血に対する動脈塞栓術

がんから出血が起き、自然に止まらない場合に行う治療です。足の付け根などの血管からカテーテルを挿入し、出血している血管まで進めて塞栓物質（血流を遮断する詰め物）を注入することで止血します。

3. 吐気・嘔吐、腹部膨満に対する消化管減圧術

がんの増大によって胃や腸などの消化管が塞がってしまうと、食事が摂れないだけでなく、強い吐き気や嘔吐、お腹の張りといった症状が生じます。これに対し、胃や腸に管を通して溜まった内容物やガスを外へ逃がし、症状を軽減させます。

◆令和 7 年度 緩和的 IVR 実績

当院における令和 7 年度の緩和的 IVR の実施件数です。患者さんの症状や状態に合わせて、適切な治療を選択・実施しています。

症状・疾患	治療の種類	実施件数（件）
胸水・腹水・心嚢水	経皮的ドレナージ術	102
膿瘍	経皮的ドレナージ術	36
制御不能な出血	動脈塞栓術	36
吐気、嘔吐、腹部膨満	消化管減圧術	22
閉塞性黄疸	胆管ドレナージ術	6
水腎症	腎瘻造設術	6
骨転移による疼痛	動脈塞栓術	2